

《奥州》新規就農事例・農作業体験研修(きゅうり)を開催！

胆江地方農林業振興協議会は、就農間もない新規就農者や就農希望者が、先進的な若手野菜経営者による講義や農作業体験を通じて、自身の就農後の経営を具体的にイメージできるよう支援することを目的に、「新規就農事例・農作業体験研修」を7月24日、奥州市江刺玉里の菊池智也氏の露地きゅうりほ場において開催し、就農希望者4名、新規就農者1名が参加しました。

最初に、菊池氏から就農に至るまでの経緯や経営内容について説明いただきました。基盤整備に伴って20aのほ場へ変更し2年目を迎える中、排水対策や地力確保に苦労したこと、家族の送迎など生活時間を確保しつつ、収穫・選別・出荷・整枝管理などの作業を行っている実情について、率直にお話しいただきました。一方で、自らの裁量で作業ができ、安定した収益を確保できることなど、農業経営の魅力についても紹介いただきました。

その後、ほ場において収穫適期の判断方法や整枝・かん水管理のポイントについて説明を受けたほか、作業舎にて、出荷用段ボール箱の組み立て作業を体験しました。

参加者からは、「苦労話を聞いても、それを感じさせないほど明るく前向きな方だった」といった菊池氏の人柄に関する感想や、「コスト面などでメリットが大きければ、ぜひ取り組んでみたい」といった就農に前向きな意見が聞かれ、充実した研修となりました。



講師菊池氏による説明



出荷用段ボール作り体験